

## 岐阜県安全・安心まちづくり懇談会【議事概要】

○日 時：令和8年6月30日（火曜日） 13：30～15：30

○場 所：岐阜県庁18階 1801会議室

○議 題：「岐阜県犯罪のない安全・安心まちづくり条例」に基づく行動計画について

### 《議事概要》

事務局から行動計画（案）の概要について説明を行った。

その後、委員から以下の意見があった。

### 【委員意見】

#### ○地域連携・共創の視点について

- ・「自分たちの地域の安全は自分たちで守る」という考え方に加え、多様な主体が連携・協働する「共創」の視点を取り入れ、人づくりやまちづくり、社会づくりにつながる内容としていくことが重要ではないかとの意見があった。
- ・防犯活動を、地域コミュニティの活性化や地域づくりと関連付けて推進していく必要があるとの意見があった。

#### ○フレンドリー企業登録制度について

- ・フレンドリー企業制度について、より積極的な周知やPRを行うことで登録企業の増加につながるのではないかとの意見があった。
  - ・地域で見守り活動を行っている事業者は多く、推薦方法や制度内容がより分かりやすく周知されれば応募につながるなどの意見があった。
  - ・表彰事例や活動事例を紹介する資料等を活用して、市町村や企業への働きかけを行ってはどうかとの提案があった。
- ⇒事務局から、登録制度の周知が十分ではないことを課題と認識しており、市町村や関係機関と連携しながら周知の強化を図っていく旨説明した。

#### ○防犯ボランティアの担い手確保について

- ・防犯ボランティアの高齢化や担い手不足が深刻化しており、コロナ禍以降、活動への参加者が減少しているとの意見があった。
- ・定年延長等の影響もあり、地域活動へ参加する人材が減少していることが課題であるとの意見があった。

- ・防犯活動以外の地域活動を行う団体との連携や情報共有を進めることにより、新たな担い手の確保につなげることが重要であるとの意見があった。
- ・ボランティアの活動内容や役割が地域住民に十分伝わっていないため、広報誌等を活用した発信が必要との意見があった。

### ○子ども１１０番の家について

- ・設置箇所数が減少していることから、設置状況の見直しや必要箇所への新規設置を進める必要があるとの意見があった。
- ・学校運営協議会や地域住民等が連携し、定期的に現状確認を実施している事例が紹介された。
- ・空き家や日中不在となる住宅への設置など、実態に合わなくなっているケースも見られることから、制度や運用方法の見直しが必要ではないかとの意見があった。
- ・子ども１１０番の家の所管や管理主体が分かりにくく、関係機関の役割整理が必要との意見があった。
- ・通学時だけでなく、放課後や休日も含めて子どもが安心して駆け込める場所として機能するよう制度を見直すべきとの意見があった。

⇒事務局から、関係機関と共有し、今後の検討課題として取り扱う旨説明した。

### ○学校運営協議会について

- ・学校運営協議会において、学校側が抱える課題や地域に支援を求めたい事項を具体的に示してもらえると、地域住民が協力しやすいとの意見があった。
- ・学校と地域をつなぐ仕組みとして有効であり、子どもの安全確保の観点からも活用が重要であるとの意見があった。

### ○情報モラル教育について

- ・外部講師による情報モラル教育については一定の効果が期待される一方、講師の専門性や教育内容について一定の確認が必要ではないかとの意見があった。
- ・課金型ネットゲームやネット依存の問題についても継続的な啓発が必要との意見があった。

### ○地域における見守り活動について

- ・民生委員・児童委員活動においても担い手不足や高齢化が課題となっているとの報告があった。
- ・地域の安全・安心を確保するためには、行政だけでなく自治会や各種団体、

地域住民が連携して取り組むことが重要との意見があった。

- ・空き家対策については、防犯面からも重要な課題であり、行政と自治会等が連携して取り組む必要があるとの意見があった。

#### ○防犯アプリの活用について

- ・特殊詐欺対策アプリ及び岐阜県警察防犯アプリについて、地域活動の中で紹介・普及に取り組んでいる事例が紹介された。

- ・高齢者等への周知を含め、さらなる普及促進が必要との意見があった。